

# JIS 原案概要

意見・異議等の受付期間は、2022年9月30日～2022年11月30日です。

制定/改正	JIS 規格番号	JIS 原案の名称	JIS 原案の適用範囲, 規定項目又は改正点	制定・改正の必要性	対応する国際規格番号及び名称
改正	<b>JIS B 1510</b>	転がり軸受—ラジアル軸受, 固定用切欠き—寸法及び公差	<p><b>【適用範囲】</b> この規格は, 単列アンギュラ玉軸受, 4点接触玉軸受及びラジアル円筒ころ軸受の外輪に設ける固定用切欠きの寸法及び公差について規定する。</p> <p><b>【改正点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2か所の切欠きを示す図2を追加するとともに, 現行 <b>JIS</b> にある 1か所の切欠きを示す図 1 について, <b>GPS</b> を適用した表記に変更する。</li> <li>・固定用切欠きの深さの方向を従来のラジアル方向から切欠き底面に垂直方向に変更するとともに, 切欠き深さの許容値を変更する。</li> <li>・固定用切欠きの図面における仕様表記例を附属書 A として追記する。</li> <li>・固定用切欠きの用途例を附属書 B として追記する。</li> </ul>	<p>この規格は, 軸受及び軸受部品の寸法, 構造及び品質に関する標準化であり, これらは, 工業品の生産, 設計, 製図, 使用等に必要となるものである。この規格を産業標準化することによって, 次のように産業の発展に寄与するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軸受の生産性の向上, 品質の改善, 産業界の発展に寄与する。</li> <li>・軸受を使用する上での合理化に寄与する。</li> <li>・軸受の生産者と使用者との相互理解の促進, 互換性の確保に寄与する。</li> <li>・技術の普及発達又は国際産業競争力強化に寄与する。</li> <li>・国際貿易の円滑化又は国際協力の促進に寄与する。</li> <li>・軸受を生産する中小企業の振興に寄与する。</li> <li>・対応国際規格と整合させる。</li> </ul>	<b>ISO 20515:2021</b> Rolling bearings — Radial bearings, retaining slots — Dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values